

レイモンド大蔵保育園 第三者評価調査報告書
【共通評価基準】

I 福祉サービスの基本方針と組織

I-1 理念・基本方針

I-1-(1) 理念、基本方針が確立・周知されている		自己評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点 (該当する場合は□にチェック)
1	① 理念、基本方針が明文化され周知が図られている。	b	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 理念、基本方針が法人、保育所内の文書や広報媒体(パンフレット、ホームページ等)に記載されている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 理念は、法人、保育所が実施する保育の内容や特性を踏まえた法人、保育所の使命や目指す方向、考え方を読み取ることができる。
	法人本部のホームページでは、法人理念、保育方針、法人活動のこれからの方向を詳しく提示している。本園では、職員には4月の職員会議(全員参加)で理念、保育方針を中心に説明し、周知・徹底確認をおこなっている。レイモンドグループは保護者会を結成せず、当園でも新入園児の保護者には、入園のしおり・重要事項説明書を配布し入園時に説明している。在園中の保護者には、2日間15:00と17:00の2回にわたり重要事項説明書を配布し説明している。保護者説明は1回だけでなくフォローする工夫(園だより・掲示・WEB等)をしてほしい。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 基本方針は、法人の理念との整合性が確保されているとともに、職員の行動規範となるような具体的な内容となっている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 理念や基本方針は、会議や研修会での説明、会議での協議等をもって、職員への周知が図られている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 理念や基本方針は、わかりやすく説明した資料を作成するなどの工夫がなされ、保護者等への周知が図られている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ 理念や基本方針の周知状況を確認し、継続的な取組を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	キ 理念や基本方針を保護者会等で資料をもとに説明している。(保育所)

I-2 経営状況の把握

I-2-(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。		自己評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点 (該当する場合は□にチェック)
2	① 事業経営をとりまく環境と経営状況が的確に把握・分析されている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 社会福祉事業全体の動向について、具体的に把握し分析している。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 地域の各種福祉計画の策定動向と内容を把握し分析している。
	レイモンドグループ60園(関東圏から沖縄まで)の園長会議(ZOOM)が毎月2時間その後続いてエリア会議として近隣の園長6名が1時間情報共有を行っている。彦根社会福祉協議会・滋賀県私立保育園連盟の理事会に参加し、経営環境や経営状況は把握されている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 子どもの数・利用者(子ども・保護者)像等、保育のニーズ、潜在的利用者に関するデータを収集するなど、法人(保育所)が位置する地域での特徴・変化等の経営環境や課題を把握し分析している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 定期的に保育のコスト分析や保育所利用者の推移、利用率等の分析を行っている。
3	② 経営課題を明確にし、具体的な取り組みを進めている。	b	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 経営環境や保育の内容、組織体制や設備の整備、職員体制、人材育成、財務状況等の現状分析にもつき、具体的な課題や問題点を明らかにしている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 経営状況や改善すべき課題について、役員(理事・監事等)間での共有がなされている。
	経営課題の中で重要なものから取り組むべく、本部やエリア事務員の支援を得て、運営面・財務面・人材面での課題解決目標を立てて取り組んでいる。見直しが上半期末ということで、結果としては方針の理解や徹底度の違いが出てきて、目標達成には、見直し頻度を上げるなど頑張ってもらいたい。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 経営状況や改善すべき課題について、職員に周知している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 経営課題の解決・改善に向けて具体的な取組が進められている。

I-3 事業計画の策定

I-3-(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。		自己評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点 (該当する場合は□にチェック)
4	① 中・長期的なビジョンを明確にした計画が策定されている。	c	<input type="checkbox"/>	ア 中・長期計画において、理念や基本方針の実現に向けた目標(ビジョン)を明確にしている。
	判断した理由・特記事項等		<input type="checkbox"/>	イ 中・長期計画は、経営課題や問題点の解決・改善に向けた具体的な内容となっている。
	レイモンドグループは、中長期計画を立てず、月1回開催の園長会やエリア事務員等の情報と本部も参加しての検討や方針決定で、年次計画のバックボーンが整備されている。		<input type="checkbox"/>	ウ 中・長期計画は、数値目標や具体的な成果等を設定することなどにより、実施状況の評価を行える内容となっている。
			<input type="checkbox"/>	エ 中・長期計画は必要に応じて見直しを行っている。
5	② 中・長期計画を踏まえた単年度の計画が策定されている。	c	<input type="checkbox"/>	ア 単年度の計画には、中・長期計画の内容を反映した単年度における事業内容が具体的に示されている。
	判断した理由・特記事項等		<input type="checkbox"/>	イ 単年度の事業計画は、実行可能な具体的な内容となっている。
	年次計画は、グループ全体で検討した内容と本部のアドバイスを加えて、各園で具現化している。少子高齢化が顕著になってきているので、中・長期計画策定が強く望まれる。		<input type="checkbox"/>	ウ 単年度の事業計画は、単なる「行事計画」になっていない。
			<input type="checkbox"/>	エ 単年度の事業計画は、数値目標や具体的な成果等を設定することなどにより、実施状況の評価を行える内容となっている。

レイモンド大蔵保育園 第三者評価調査報告書
【共通評価基準】

I-3-(2) 事業計画が適切に策定されている。		自己評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点 (該当する場合は口)にチェック)
6	① 事業計画の策定と実施状況の把握や評価・見直しが組織的に行われ、職員が理解している。	b	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 事業計画が、職員等の参画や意見の集約・反映のもとで策定されている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 計画期間中において、事業計画の実施状況が、あらかじめ定められた時期、手順にもとづいて把握されている。
	事業計画を作成するにあたり、職員の参画が不可欠として、昨年からのクラス会議での検討を加えてきている。事業計画を全員で前進させようと頑張っている所である。見直しや再検討等の回数をもう少し上げられる工夫を期待したい。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 事業計画が、あらかじめ定められた時期、手順にもとづいて評価されている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 評価の結果にもとづいて事業計画の見直しを行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 事業計画が、職員に周知(会議や研修会における説明等)がされており、理解を促すための取組を行っている。
7	② 事業計画は、保護者等に周知され、理解を促している。	b	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 事業計画の主な内容が、保護者等に周知(配布、掲示、説明等)されている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 事業計画の主な内容を保護者会等で説明している。
	保護者会はなく、園だよりに大きな事業については相当詳しく掲示されているが、もう少し本件に関する記事掲載が増えることを期待したい。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 事業計画の主な内容を分かりやすく説明した資料を作成する方法によって、保護者等がより理解しやすいような工夫を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 事業計画については、保護者等の参加を促す観点から周知、説明の工夫を行っている。

I-4 福祉サービスの質の向上への組織的・計画的な取組

I-4-(1) 質の向上に向けた取組が組織的・計画的に行われている。		自己評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点 (該当する場合は口)にチェック)
8	① 保育の質の向上に向けた取組が組織的に行われ、機能している。	b	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 組織的にPDCAサイクルにもとづく保育の質の向上に関する取組を実施している。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 保育の内容について組織的に評価(C:Check)を行う体制が整備されている。
	PDCAサイクルによる保育の質向上に常に取り組んでいる。自己評価は年2回実施しており、見直しのチャンスと受け止めている。第三者評価調査は、努力義務化を尊重して5年に1回受審していたが昨年度はコロナ禍により、今年度受審となった。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 定められた評価基準にもとづいて、年に1回以上自己評価を行うとともに、第三者評価等を定期的に受審している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 評価結果を分析・検討する場が、組織として位置づけられ実行されている。
9	② 評価結果にもとづき保育所として取組むべき課題を明確にし、計画的な改善策を実施している。	b	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 評価結果を分析した結果やそれにもとづく課題が文書化されている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 職員間で課題の共有化が図られている。
	評価結果により出てきた課題については、グループごとにまとめて改善に向けて取り組むことになっている。計画的な改善策に取り組んでいるが、進行状況を確認する回数を増やすことを期待したい。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 評価結果から明確になった課題について、職員等の参画のもとで改善策や改善計画を策定する仕組みがある。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 評価結果にもとづく改善の取組を計画的に行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 改善策や改善の実施状況の評価を実施するとともに、必要に応じて改善計画の見直しを行っている。

II 組織の運営管理

II-1 管理者の責任とリーダーシップ

II-1-(1) 管理者の責任が明確にされている。		自己評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点 (該当する場合は口)にチェック)
10	① 施設長は、自らの役割と責任を職員に対して表明し理解を図っている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 施設長は、自らの保育所の経営・管理に関する方針と取組を明確にしている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 施設長は、自らの役割と責任について、保育所内の広報誌等に掲載し表明している。
	職員室の壁面には「職務分掌表」が掲示され、各個人に配布している勤務の心得編(1)職務分担にも主任が、園長不在の代行を行うと明記している。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 施設長は、自らの役割と責任を含む職務分掌等について、文書化するとともに、会議や研修において表明し周知が図られている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 平常時のみならず、有事(災害、事故等)における施設長の役割と責任について、不在時の権限委任等を含め明確化されている。
11	② 遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 施設長は、遵守すべき法令等を十分に理解しており、利害関係者(取引事業者、行政関係者等)との適正な関係を保持している。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 施設長は、法令遵守の観点での経営に関する研修や勉強会に参加している。
	園長は、レイモンド園長会から各種情報を入手・共有する他、各種関係機関からの研修案内があれば参加に必要な情報は、職員会議で周知している。環境への配慮からSDGsの環境整備に活動着手している。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 施設長は、環境への配慮等も含む幅広い分野について遵守すべき法令等を把握し、取組を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 施設長は、職員に対して遵守すべき法令等を周知し、また遵守するための具体的な取組を行っている。

レイモンド大蔵保育園 第三者評価調査報告書
【共通評価基準】

II-1-(2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。		自己評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点 (該当する場合は口)にチェック)
12	① 保育の質の向上に意欲をもちその取組に指導力を発揮している。	b	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 施設長は、保育の質の現状について定期的、継続的に評価・分析を行っている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 施設長は、保育の質に関する課題を把握し、改善のための具体的な取組を明示して指導力を発揮している。
	保育の質向上は、施設運営の核心であり、第三者評価調査の主目的でもある。職員は目標カードを作成し、年2回本人の目標設定を中心に園長面談し、一人一人にふさわしい研修受講を実現するよう努めている。現状の課題把握とその分析について、もう一歩踏み込んで各グループの活動中心としながらも、トップの意向をもう少し注入する頻度を高めることを期待したい。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 施設長は、保育の質の向上について組織内に具体的な体制を構築し、自らもその活動に積極的に参画している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 施設長は、保育の質の向上について、職員の意見を反映するための具体的な取組を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 施設長は、保育の質の向上について、職員の教育・研修の充実を図っている。
13	② 経営の改善や業務の実効性を高める取組に指導力を発揮している。	b	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 施設長は、経営の改善や業務の実効性の向上に向けて、人事、労務、財務等を踏まえ分析を行っている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 施設長は、組織の理念や基本方針の実現に向けて、人員配置、職員の働きやすい環境整備等、具体的に取り組んでいる。
	園長は、人事・労務・財務を統括して、実情把握をしている中で目下はグループリーダーに理解と協力を得て前進しようと努めている。グループリーダーの成長を望むと共にもう一歩共に参加する場面もあってほしいと希望する。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 施設長は、経営の改善や業務の実効性の向上に向けて、組織内に同様の意識を形成するための取組を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 施設長は、経営の改善や業務の実効性を高めるために組織内に具体的な体制を構築し、自らもその活動に積極的に参画している。

II-2 福祉人材の確保・育成

II-2-(1) 福祉人材の確保・育成計画、人事管理の体制が整備されている。		自己評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点 (該当する場合は口)にチェック)
14	① 必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 必要な福祉人材や人員体制に関する基本的な考え方や、福祉人材の確保と育成に関する方針が確立している。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 保育の提供に関わる専門職の配置、活用等、必要な福祉人材や人員体制について具体的な計画がある。
	人員体制は、配置基準に基づいて職員配置をしている。園の方針や、保育内容については、園の魅力や特徴を感じてもらえるようホームページの内容を工夫している。職員の育成については育成指針計画を立て、ステップアップ研修や階層別人事育成を実施している。掲示板に求人掲示発信している。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 計画にもとづいた人材の確保や育成が実施されている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 法人(保育所)として、効果的な福祉人材確保(採用活動等)を実施している。
15	② 総合的な人事管理が行われている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 法人(保育所)の理念・基本方針にもとづき「期待する職員像等」を明確にしている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 人事基準(採用、配置、異動、昇進・昇格等に関する基準)が明確に定められ、職員等に周知されている。
	評価基準に基づいた職員評価基準制度で、各自目標を設定し、園長との面談で目標を設定している。さらに取り組み過程の確認、成果を検証し、次年度に繋げるよう情報を園長と共有し、育成に努めている。毎年全職員と自己評価に基づいた面談をし、意見を聞き、配置や昇進等の評価をしている。階層別研修の内容が組み込まれている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 一定の人事基準にもとづき、職員の専門性や職務遂行能力、職務に関する成果や貢献度等を評価している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 職員処遇の水準について、処遇改善の必要性等を評価・分析するための取組を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 把握した職員の意向・意見や評価・分析等にもとづき、改善策を検討・実施している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ 職員が、自ら将来の姿を描くことができるような総合的な仕組みづくりができている。
II-2-(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。		自己評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点 (該当する場合は口)にチェック)
16	① 職員の就業状況や意向を把握し、働きやすい職場づくりに取組んでいる。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 職員の就業状況や意向の把握等にもとづき労務管理に関する責任体制を明確にしている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 職員の有給休暇の取得状況や時間外労働のデータを定期的に確認するなど、職員の就業状況を把握している。
	園長は職員の心の健康に気を配り、就業状況は電子化して、定期的に把握し管理している。日頃から職員への気くばり個々の悩みを迅速に行い、問題解決のため話し合い、対応方法を検討している。年次有給休暇は業務の支障のない範囲内で希望どおりに取得できるよう配慮している。法人、行政との相談窓口を設け情報提供に努めている。園長との面談時間を設け、また希望があれば随時面談を行っている。職員同士で日常的に日頃の悩みを話せるよう、お互いに声を掛けやすい雰囲気づくりに心掛けている。ワーク・ライフ・バランスに配慮するため、希望に合わせた雇用形態や労働時間を取り入れている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 職員の心身の健康と安全の確保に努め、その内容を職員に周知している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 定期的に職員との個別面談の機会を設ける、職員の悩み相談窓口を組織内に設置するなど、職員が相談しやすいような組織内の工夫をしている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 職員の希望の聴取等をもとに、総合的な福利厚生を実施している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ ワーク・ライフ・バランスに配慮した取組を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	キ 改善策については、福祉人材や人員体制に関する具体的な計画に反映し実行している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	ク 福祉人材の確保、定着の観点から、組織の魅力を高める取組や働きやすい職場づくりに関する取組を行っている。

レイモンド大蔵保育園 第三者評価調査報告書
【共通評価基準】

II-2-(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。		自己評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点 (該当する場合は口にてチェック)
17	① 職員一人ひとりの育成に向けた取組を行っている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 組織として「期待する職員像」を明確にし、職員一人ひとりの目標管理のための仕組みが構築されている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 個別面接を行う等保育所の目標や方針を徹底し、コミュニケーションのもとで職員一人ひとりの目標が設定されている。
	評価基準に基づいた職員評価基準制度で、各自目標を設定し、園長との面談で目標を設定している。さらに取り組み過程の確認、成果を検証し、次年度に繋げるよう情報を園長と共有し、育成に務めている。毎年全職員と自己評価に基づいた面談をし、意見を聞き、配置や昇進等の評価をしている。階層別研修の内容が組み込まれている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 職員一人ひとりの目標の設定は、目標項目、目標水準、目標期限が明確にされた適切なものとなっている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 職員一人ひとりが設定した目標について、中間面接を行うなど、適切に進捗状況の確認が行われている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 職員一人ひとりが設定した目標について、年度当初・年度末(期末)面接を行うなど、目標達成度の確認を行っている。
18	② 職員の教育・研修に関する基本方針や計画が策定され、教育・研修が実施されている。	b	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 保育所が目指す保育を実施するために、基本方針や計画の中に、「期待する職員像」を明示している。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 現在実施している保育の内容や目標を踏まえて、基本方針や計画の中に、保育所が職員に必要とされる専門技術や専門資格を明示している。
	期待する職員像を記した行動評価基準を基に、職員は入職時の研修で学んでいる。日々の保育を振り返り、最善の保育を提案するためにどうあるべきかを職員間で確認している。求められる職員像を参考に、自己の職位の理解と目標設定が行えるようにしている。職員の意欲を最大限発揮できるように目標設定時や年度途中の状況確認時、園長との面談で相談に乗ったり、助言をして次年度の取組に繋げている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 策定された教育・研修計画にもとづき、教育・研修が実施されている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 定期的に計画の評価と見直しを行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 定期的に研修内容やカリキュラムの評価と見直しを行っている。
19	③ 職員一人ひとりの教育・研修の機会が確保されている。	b	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 個別の職員の知識、技術水準、専門資格の取得状況等を把握している。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 新任職員をはじめ職員の経験や習熟度に配慮した個別的なOJTが適切に行われている。
	園長は職員の保育技術や、キャリアアップ研修の受講状況を確認し、個々の研修状況を確認している。全ての職員が研修に参加できるように配慮している。年間研修計画には、階層別研修や役職研修など多彩な研修ができるようにしている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 階層別研修、職種別研修、テーマ別研修等の機会を確保し、職員の職務や必要とする知識・技術水準に応じた教育・研修を実施している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 外部研修に関する情報提供を適切に行うとともに、参加を奨励している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 職員一人ひとりが、教育・研修の場に参加できるように配慮している。
II-2-(4) 実習生等の福祉サービスに関する専門職の研修・育成が適切に行われている。		自己評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点 (該当する場合は口にてチェック)
20	① 実習生等の保育に関する専門職の研修・育成について体制を整備し、積極的な取組をしている。	b	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 実習生等の保育に関する専門職の研修・育成に関する基本姿勢を明文化している。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 実習生等の保育に関する専門職の研修・育成についてのマニュアルが整備されている。
	保育に関わる専門的な研修・育成に関する基本を基に、マニュアルを整備している。実習生受け入れは「実習生受け入れプログラム」を作成している。職員で共有し、実習生受け入れに対する意識を高めている。実習生受け入れの際、事前に職員で共有し目的・内容を周知している。今年度はまだ申し入れがない状態である。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 専門職種の特性に配慮したプログラムを用意している。
			<input type="checkbox"/>	エ 指導者に対する研修を実施している。
			<input type="checkbox"/>	オ 実習生については、学校側と、実習内容について連携してプログラムを整備するとともに、実習期間中においても継続的な連携を維持していくための工夫を行っている。

II-3 運営の透明性の確保

II-3-(1) 運営の透明性を確保するための取組が行われている。		自己評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点 (該当する場合は口にてチェック)
21	① 運営の透明性を確保するための情報公開が行われている。	b	<input checked="" type="checkbox"/>	ア ホームページ等の活用により、法人、保育所の理念や基本方針、保育の内容、事業計画、事業報告、予算、決算情報が適切に公開されている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 保育所における地域の福祉向上のための取組の実施状況、第三者評価の受審、苦情・相談の体制や内容について公表している。
	ホームページ・園のパンフレット等で、基本方針の内容を公開している。苦情・相談の体制については、重要事項説明書に記載している。苦情の受付から解決、改善までの経過及び結果を記録している。第三者評価結果や苦情・相談窓口を公表している。地域に向けては、パンフレットや印刷物の配布は実施されておらず課題である。地域への事業計画や保育園としての活動報告を何らかの方法で公開する事を期待したい。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 第三者評価の受審結果、苦情・相談の体制や内容にもとづき改善・対応の状況について公表している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 法人(保育所)の理念、基本方針やビジョン等について、社会・地域に対して明示・説明し、法人(保育所)の存在意義や役割を明確にするように努めている。
			<input type="checkbox"/>	オ 地域へ向けて、理念や基本方針、事業所でやっている活動等を説明した印刷物や広報誌等を配布している。
22	② 公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のための取組が行われている。	b	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 保育所における事務、経理、取引等に関するルール、職務文書と権限・責任が明確にされ、職員等に周知している。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 保育所における事務、経理、取引等について内部監査を実施するなど、定期的に確認されている。
	園の事務、経理などのルールについては法人の理事会で定期的に状況確認が行われ、日常の会計処理や経理については税理士の指導を受けて実施している。内部監査を受け日常の会計処理や経理に務めている。決果については職員に周知し、改善に務めている。外部に関しては第三者評価を定期的に受信し、結果を公表している。今後は更に広く公表する事を期待したい。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 保育所の事業、財務について、外部の専門家による監査支援等を実施している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 外部の専門家による監査支援等の結果や指摘事項にもとづいて、経営改善を実施している。

レイモンド大蔵保育園 第三者評価調査報告書
【共通評価基準】

Ⅱ-4 地域との交流、地域貢献

Ⅱ-4-(1) 地域との関係が適切に確保されている。		自己評価結果	評価の着眼点 (該当する場合は□にチェック)
23	① 子どもと地域との交流を広げるための取組を行っている。	b	ア 地域との関わり方について基本的な考え方を文書化している。
判断した理由・特記事項等			イ 活用できる社会資源や地域の情報を収集し、掲示板の利用等で保護者に提供している。
地域のふれあい広場・文化祭に参加し、交流を広げる活動に取り組んでいる。園のマニュアルや地域事業について、職員会議などで話し合い共有している。レイモンド全体としては、地域とのかかわりはこれからも益々進化することを前提に、そのビジョンを文書化し、さらなる地域との交流に取り組むことを期待したい。			ウ 子どもの個別状況に配慮しつつ地域の行事や活動に参加する際、職員やボランティアが支援を行う体制が整っている。
			エ 保育所や子どもへの理解を得るために、地域の人々と子どもの交流の機会を定期的に設けるなどの取組を行っている。
			オ 個々の子ども・保護者のニーズに応じて、地域における社会資源を利用するよう推奨している。
24	② ボランティア等の受入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	b	ア ボランティア受入れに関する基本姿勢を明文化している。
判断した理由・特記事項等			イ 地域の学校教育等への協力について基本姿勢を明文化している。
中学、高校の職場体験もボランティア受入マニュアルに沿って積極的に受け入れている。各学校から依頼があった際は速やかに快諾し、全職員に知らせ園全体で受け入れ体制を整えている。近未来の保育者になってもらえる可能性を秘めている生徒たちに、良い職場体験をさせてもらったという感想を持ってもらえるように、受け入れ態勢を更に高めていってほしい。			ウ ボランティア受入れについて、登録手続、ボランティアの配置、事前説明等に関する項目が記載されたマニュアルを整備している
			エ ボランティアに対して子どもとの交流を図る視点等で必要な研修、支援を行っている。
			オ 学校教育への協力を行っている。
Ⅱ-4-(3) 地域の福祉向上のための取組を行っている。		自己評価結果	評価の着眼点 (該当する場合は□にチェック)
25	① 保育所として必要な社会資源を明確にし、関係機関等との連携が適切に行われている。	b	ア 当該地域の関係機関・団体について、個々の子ども・保護者の状況に対応できる社会資源を明示したリストや資料を作成している。
判断した理由・特記事項等			イ 職員会議で説明するなど、職員間で情報の共有化が図られている。
近隣の小学校、保育園、自治会など集まる場所に参加し、地域とネットワークを築き、関係機関と連携し課題について相談して理解を深めている。関係機関、団体の連絡先を一覧表にファイリングし、事務所で確認できるようにしている。保護者や子どもに変化が見られたら迅速かつ適切な対応を取る体制を整えている。案件の内容によって園長、主任が窓口となり迅速に対応連携できるよう努めている。会議や研修などの場で職員への理解を得られる取り組みを期待する。			ウ 関係機関・団体と定期的な連絡会等を行っている。
			エ 地域の関係機関・団体の共通の問題に対して、解決に向けて協働して具体的な取組を行っている。
			オ 地域に適切な関係機関・団体がいない場合には、子ども・保護者のアフターケア等を含め、地域でのネットワーク化に取り組んでいる。
			カ 家庭での虐待等権利侵害が疑われる子どもへの対応について、要保護児童対策地域協議会への参画、児童相談所など関係機関との連携が図られている。(保育所)
26	① 地域の福祉ニーズ等を把握するための取組が行われている	b	ア 保育所(法人)が実施する事業や運営委員会の開催、関係機関・団体との連携、地域の各種会合への参加、地域住民との交流や相談事業などを通じて、地域の福祉ニーズや生活課題等の把握に努めている。
判断した理由・特記事項等			イ 保育所のもつ機能を地域へ還元したり、関係機関・団体との連携、民生委員・児童委員等との定期的な会議の開催等を通じて、地域の具体的な福祉ニーズの把握に努めている。(保育所)
年間を通して、誕生会や絵本の読み聞かせ、園庭の開放を実施し、親子と園児の交流も行っている。			ウ 地域住民に対する相談事業などを通じて、多様な相談に応じる機能を有している。(保育所)
27	② 地域の福祉ニーズ等にもとづく公益的な事業・活動が行われている	b	ア 把握した福祉ニーズ等にもとづいて、法で定められた社会福祉事業にとどまらない地域貢献に関わる事業・活動(地域の子ども育成・支援、子どもの貧困への支援等)を実施している。
判断した理由・特記事項等			イ 把握した福祉ニーズ等にもとづいた具体的な事業・活動を、計画等で明示している。
園は地域の自治会に加盟し、地域の情報を収集している。近隣の小学校や中学との交流、職場体験、地域の実習生を積極的に受け入れている。次世代育成のため、施設見学の受け入れや地域の親子を招待している。外掲示に地域親子向けの事業の年間計画や育児相談などの案内をしている。地域の防災訓練の参加や、災害時の地域支援への取組みなどの活動を発展させていってほしい。			ウ 多様な機関や地域住民等と連携して、社会福祉分野のみならず、地域コミュニティの活性化やまちづくりなどに貢献している。
			エ 保育所(法人)が有する福祉サービスの提供に関するノウハウや専門的な情報を、地域に還元する取組を積極的にしている。
			オ 地域の防災対策や、被災時における福祉的な支援を必要とする人びと、住民の安全・安心のための備えや支援の取組を行っている。

Ⅲ 適切な福祉サービスの実施

Ⅲ-1 利用者本位の福祉サービス

Ⅲ-1-(1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。		自己評価結果	評価の着眼点 (該当する場合は□にチェック)
28	① 子どもを尊重した保育について共通の理解をもつための取組を行っている。	a	ア 理念や基本方針に、子どもを尊重した保育の実施について明示し、職員が理解し実践するための取組を行っている。
判断した理由・特記事項等			イ 子どもを尊重した保育の提供に関する「倫理綱領」や規程等を策定し、職員が理解し実践するための取組を行っている。
入職時、全職員に、法人がめざす理念「子ども一人ひとりの尊重」について、丁寧に伝えている。また、理念や方針に基づいた保育・教育が行えるよう、日頃より研修会や定期的な会議の場を設け、「子どもを尊重することの大切さ」を学ぶ機会としている。特に、保育をマネジメントし、PDCAを回し、保育の質を高める研修では、新卒採用・中途採用を問わず全員必須とし、保育の質の向上を図っている。			ウ 子どもを尊重した保育に関する基本姿勢が、保育の標準的な実施方法等に反映されている。
全クラス「みんなちがって、みんないい」等のクラス目標を掲げ、一人ひとりの内面に、「友だちを大切にできる気持ち」が育つよう心がけている。また、職員も、同じ理念・同じ方向性に向かった保育実践が進められるよう、「ほうれんそう」の精神を大切にしながら同一姿勢で保育に臨んでいる。			エ 子どもの尊重や基本的人権への配慮について、組織で勉強会・研修を実施している。
			オ 子どもの尊重や基本的人権への配慮について、定期的な状況の把握・評価等を行い、必要な対応を図っている。
			カ 子どもが互いを尊重する心を育てるための具体的な取組を行っている。(保育所)
			キ 性差への先入観による固定的な対応をしないように配慮している。(保育所)
			ク 子どもの人権、文化の違い、互いに尊重する心について、その方針等を保護者に示すとともに、保護者も理解を図る取組を行っている。(保育所)

レイモンド大蔵保育園 第三者評価調査報告書
【共通評価基準】

29	② 子どものプライバシー保護に配慮した保育が行われている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	子どものプライバシー保護について、社会福祉事業に携わる者としての姿勢・責務等を明記した規程・マニュアル等が整備され、職員への研修によりその理解が図られている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	規定・マニュアル等にもとづいて、プライバシーに配慮した保育が実施されている。
	子どものプライバシー保護や権利擁護に関するマニュアルを詳細に整備し、それに基づいた保育が徹底して行っている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	一人ひとりの子どもにとって、生活の場にふさわしい快適な環境を提供し、子どものプライバシーを守れるよう設備等の工夫を行っている。
	4・5歳児の身体計測は、男女別に実施し、パーソナルの活用など、施設・備品類での配慮も充実させている。		<input checked="" type="checkbox"/>	エ	子ども・保護者にプライバシー保護に関する取組を周知している。
Ⅲ-1-(2) 福祉サービスの提供に関する説明と同意(自己決定)が適切に行われている。		自己評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は□にチェック)	
30	① 利用希望者に対して保育所選択に必要な情報を積極的に提供している。	b	<input type="checkbox"/>	ア	理念や基本方針、保育の内容や保育所の特性等を紹介した資料を、公共施設等の多くの人が入手できる場所に置いている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	保育所を紹介する資料は、言葉遣いや写真・図・絵の使用等で誰にでもわかるような内容になっている。
	ホームページを開設し保育園の概要を分かりやすく紹介している。また、A3見開き、表裏カラー版のパンフレットを作成し、広く周知を図っている。保育所利用希望者には、丁寧な説明を行い、施設見学希望者には、個別に施設案内を実施している。市の公共施設の掲示コーナーの活用を図ったりするなど、保育情報の提供をさらに充実させるよう努めてほしい。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	保育所の利用希望者については、個別に丁寧な説明を実施している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	見学等の希望に対応している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ	利用希望者に対する情報提供について、適宜見直しを実施している。
31	② 保育の開始・変更にあたり保護者等にわかりやすく説明している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	保育の開始及び保育内容の変更時の説明と同意にあたっては、保護者等の意向に配慮している。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	保育の開始・変更時には、保護者等がわかりやすいように工夫した資料を用いて説明している。
	保育の開始、変更があったときには、保護者に分かり易いように書面や掲示板、キッズアプリを使って知らせている。キッズアプリの良さは、保護者が情報を確認したかどうかを園側が把握できること。保護者が情報を確認していないときは、電話連絡等を行い、情報が確実に届けるようにしている。また、外国籍の方には、日本語に「カタカナルビ」を打って伝えている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	説明にあたっては、保護者等が理解しやすいような工夫や配慮を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	保育の開始・変更時には、保護者等の同意を得たうえでその内容を書面で残している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ	特に配慮が必要な保護者への説明についてルール化され、適正な説明、運用が図られている。
32	③ 保育所等の変更にあたり保育の継続性に配慮した対応を行っている。	b	<input type="checkbox"/>	ア	保育所等の変更にあたり、保育の継続性に配慮した手順と引継ぎ文書を定めている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	保育所の利用が終了した後も、保育所として子どもや保護者等が相談できるように担当者や窓口を設置している。
	法人内転園と法人外転園に分けて案内している。法人内転園では関係書類の引き継ぎを行い、法人外転園では、彦根市の規定に沿った書類による手続きを進めている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	保育所の利用が終了した時に、子どもや保護者等に対し、その後の相談方法や担当者について説明を行い、その内容を記載した文書を渡している。
Ⅲ-1-(3) 利用者満足の上昇に努めている。		自己評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は□にチェック)	
33	① 利用者満足の上昇を目的とする仕組みを整備し、取組を行っている。	b	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	日々の保育のなかで、子どもの満足を把握するように努めている。(保育所)
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	保護者に対し、利用者満足に関する調査が定期的に行われている。(保育所)
	各種行事を実施した後にアンケート調査を行い、全職員で取組の振り返りを行っている。その結果は、次の行事に生かしている。アンケート回収率は、毎回80%~93%と、保護者からの高い支持を得ている。日常的な取組については、保護者面談を年2回実施し、保護者の声を聞き取る取組を行っている。必要に応じて、臨時の面談や聞き取りも実施し、保育活動の充実に生かしている。今後もこうした取組を一層充実させ、保育の質向上に努められることを期待したい。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	保護者への個別の相談面談や聴取、保護者懇談会が、利用者満足を把握する目的で定期的に行われている。(保育所)
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	職員等が、利用者満足を把握する目的で、保護者会等にも出席している。(保育所)
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ	利用者満足に関する調査の担当者等の設置や、把握した結果を分析・検討するために、検討会議の設置等が行われている。(保育所)
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ	分析・検討の結果にもとづいて具体的な改善を行っている。(保育所)
Ⅲ-1-(4) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。		自己評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は□にチェック)	
34	① 苦情解決の仕組みが確立しており、周知・機能している。	b	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	苦情解決の体制(苦情解決責任者の設置、苦情受付担当者の設置、第三者委員の設置)が整備されている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	苦情解決の仕組みをわかりやすく説明した掲示物が掲示され、資料を保護者等に配布し説明している。
	入園のおしりに苦情解決の仕組みを明記したり、玄関に掲示したりして、解決方法の周知を図っている。玄関にはアンケート箱も設置し、保護者の声がよく届きやすい環境を整えている。匿名を希望される際は、本部への直接投稿の方法もあることを知らせている。保護者から意見・要望があった際は、担任と話し合ったり、主任・園長と話し合ったりして、納得が得られるよう努めている。また、個々の事案については、個人情報保護の観点にたった上で、ホームページ上に公表することになっている。現在のところ、公表に至った重要事案は見られないが、今後の対応として、要望等が、一層出しやすい環境となるよう工夫を加えられることを期待する。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	苦情記入カードの配布やアンケート(匿名)を実施するなど、保護者等が苦情を申し出しやすい工夫を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	苦情内容については、受付と解決を図った記録を適切に保管している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ	苦情内容に関する検討内容や対応策については、保護者等に必ずフィードバックしている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ	苦情内容及び解決結果等は、苦情を申し出した保護者等に配慮したうえで、公表している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	キ	苦情相談内容にもとづき、保育の質の向上に関わる取組が行われている。

レイモンド大蔵保育園 第三者評価調査報告書
【共通評価基準】

35	② 保護者が相談や意見を述べやすい環境を整備し、保護者等に周知している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	保護者が相談したり意見を述べたりする際に、複数の方法や相手を自由に選べることをわかりやすく説明した文書を作成している。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	保護者等に、その文章の配布やわかりやすい場所に掲示する等の取組を行っている。
	プライバシーの保護に配慮して別室を準備するなど、保護者の心情に寄り添った相談活動を進めている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	相談しやすい、意見を述べやすいスペースの確保等の環境に配慮している。
36	③ 保護者からの相談や意見に対して、組織的かつ迅速に対応している。	b	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	職員は、日々の保育の提供において、保護者が相談しやすく意見を述べやすいように配慮し、適切な相談対応と意見の傾聴に努めている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	意見箱の設置、アンケートの実施等、保護者の意見を積極的に把握する取組を行っている。
	保育園に意見・相談が寄せられた場合は、何よりも迅速・丁寧な対応を心がけている。事案発生の際、担任等から主任・園長へ連絡・報告することの重要性については、単なる理解に留めず、日頃から実践化し、全職員が即座に行動化できる体制を整えている。こうした園内体制のもと、保護者の声に対しては、誠実に真摯に向き合い、「傾聴」「共感」の姿勢で寄り添う取組が進められている。こうした園の姿勢には、保護者から高い支持がある一方、一部の初期対応には改善の余地が見られる。今後の取組に期待したい。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	相談や意見を受けた際の記録の方法や報告の手順、対応策の検討等について定めたマニュアル等を整備している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	職員は、把握した相談や意見について、検討に時間がかかる場合に状況を速やかに説明することを含め迅速な対応を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ	意見等にもとづき、保育の質の向上に関わる取組が行われている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ	対応マニュアル等の定期的な見直しを行っている。
Ⅲ-1-(5)	安心・安全な福祉サービスの提供のための組織的な取組が行われている。	自己評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>		評価の着眼点(該当する場合は□にチェック)
37	① 安心・安全な福祉サービスの提供を目的とするリスクマネジメント体制が構築されている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	リスクマネジメントに関する責任者の明確化(リスクマネジャーの選任・配置)、リスクマネジメントに関する委員会を設置するなどの体制を整備している。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	事故発生時の対応と安全確保について責任、手順(マニュアル)等を明確にし、職員に周知している。
	職員は事故発生時に事故報告書やヒヤリハット報告書を作成し、発生要因の分析や再発防止の検討を行っている。担当者が集計や分析を行い再発防止に努めている。安全チェックリストや事故防止チェックリストを活用し保育環境や改善の意識改革を図っている。リスク情報を職員と共有し防止に取り組んでいる。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	子どもの安心と安全を脅かす事例の収集が積極的に行われている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	収集した事例をもとに、職員の参画のもとで発生要因を分析し、改善策・再発防止策を検討・実施する等の取組が行われている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ	職員に対して、安全確保・事故防止に関する研修を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ	事故防止策等の安全確保策の実施状況や実効性について、定期的に評価・見直しを行っている。
38	② 感染症の予防や発生時における子どもの安全確保のための体制を整備し、取組を行っている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	感染症対策について、責任と役割を明確にした管理体制が整備されている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	感染症の予防と発生時等の対応マニュアル等を作成し、職員に周知徹底している。
	感染マニュアルを基に、社会の状況や行政の指示を反映して必要に応じて見直しをしている。感染症の研修に看護師が参加し、職員会議や研修報告で全員に周知している。保護者への情報は電子メールや玄関に掲示し、保護者に協力を仰ぎ周知している。季節的に発生する感染症は毎月保健だよりを発行し、園全体の感染拡大に注意喚起している。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	担当者等を中心として、定期的に感染症の予防や安全確保に関する勉強会等を開催している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	感染症の予防策が適切に講じられている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ	感染症が発生した場合には対応が適切に行われている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ	感染症の予防と発生時等の対応マニュアル等を定期的に見直ししている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	キ	保護者への情報提供が適切になされている。(保育所)
39	③ 災害時における子どもの安全確保のための取組を組織的に行っている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	災害時の対応体制が決められている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	立地条件等から災害の影響を把握し、建物・設備類、保育を継続するために必要な対策を講じている。
	防災マニュアルを基に、対応体制を定めている。毎月状況を変えて、火災・地震・洪水などの災害訓練を行っている。食料・備品リストや防災グッズを作成し災害に備えている。消防署とも連携し指導を受け、保護者参加型の防災訓練も実施している。園舎2階の南階段には滑り台式の避難施設が設置されており、園児が常に利用し、慣れ親しめるよう配慮されている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	子ども、保護者及び職員の安否確認の方法が決められ、すべての職員に周知されている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	食料や備品類等の備蓄リストを作成し、管理者を決めて備蓄を整備している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ	防災計画等を整備し、地元の行政をはじめ、消防署、警察、自治会、福祉関係団体等と連携するなど、体制をもって訓練を実施している。

Ⅲ-2 福祉サービスの質の確保

Ⅲ-2-(1)	提供する福祉サービスの標準的な実施方法が確立している。	自己評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>		評価の着眼点(該当する場合は□にチェック)
40	① 保育について標準的な実施方法が文書化され保育が提供されている。	b	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	標準的な実施方法が適切に文書化されている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	標準的な実施方法には、子どもの尊重、プライバシーの保護や権利擁護に関わる姿勢が明示されている。
	保育業務マニュアルは、項目ごとに分かり易い表現で文書化している。中でも「子どもの尊重」「プライバシーの保護」「権利の擁護」の3項目は、明確に位置づけられ、年3回実施される職員研修の重点項目として中核に置いている。今後は、園長のリーダーシップのもと、こうした内容を保育実践の中に、どのように生かしていくか、その取組に期待したい。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	標準的な実施方法について、研修や個別の指導等によって職員に周知徹底するための方策を講じている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	標準的な実施方法にもとづいて実施されているかどうかを確認する仕組みがある。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ	標準的な実施方法により、保育実践が画一的なものとなっていない。(保育所)
41	② 標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	b	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	保育の標準的な実施方法の検証・見直しに関する時期やその方法が組織で定められている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	保育の標準的な実施方法の検証・見直しが定期的実施されている。
	標準的な実施方法の検証・見直しは、担任の日々の振り返り・報告と、主任・園長の指導・助言という相互作用で行っている。必要に応じて本部への報告も行うなど、法人としての改善に繋がるよう努めている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	検証・見直しにあたり、指導計画の内容が必要に応じて反映されている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	検証・見直しにあたり、職員や保護者等からの意見や提案が反映されるような仕組みになっている。
Ⅲ-2-(2)	適切なアセスメントにより福祉サービス実施計画が策定されている。	自己評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>		評価の着眼点(該当する場合は□にチェック)

レイモンド大蔵保育園 第三者評価調査報告書
【共通評価基準】

42	① アセスメントにもとづく指導計画を適切に作成している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	指導計画作成の責任者を設置している。
判断した理由・特記事項等			<input checked="" type="checkbox"/>	イ	アセスメント手法が確立され、適切なアセスメントが実施されている。
保育士の作成した「指導計画」「児童票」等は、リーダー保育士や主任保育士の点検後、作成責任者である園長の最終確認を待って完成となる。これらの計画書のなかでも「児童票」は、「生活の記録」、「保育・発達記録」等、きめ細かな個人情報に記載しているため、子どもの発達状況や生活状況を把握する上で極めて重要な書類となっている。園長は、この書類のもつ重要性に鑑み、子どもの見方が偏らないよう、担任のみならず、調理師や加配職員等、複数の意見も取り入れ、公正公平な視点からの記述になるよう指導助言している。			<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	さまざまな職種の関係職員、必要に応じて保育所以外の関係者が参加して、アセスメントに関する協議を実施している。
配慮を要する子どもについては、保護者の思いや意見を大切にすなかで、市の巡回訪問相談員や専門機関からの助言を生かし、日々の園生活で、クラスの友達と仲良くのびのび楽しく過ごせるよう配慮している。			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	全体的な計画にもとづき、指導計画が作成されている。(保育所)
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ	子どもと保護者等の具体的なニーズ等が、個別の指導計画等に明示されている。(保育所)
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ	計画の作成にあたり、さまざまな職種の関係職員、必要に応じて保育所以外の関係者が参加しての合議、保護者の意向把握と同意を含んだ手順を定めて実施している。(保育所)
			<input checked="" type="checkbox"/>	キ	指導計画にもとづく保育実践について、振り返りや評価を行う仕組みが構築され、機能している。(保育所)
			<input checked="" type="checkbox"/>	ク	支援困難ケースへの対応について検討し、積極的かつ適切な保育の提供が行われている。(保育所)
43	② 定期的に指導計画の評価・見直しを行っている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	指導計画の見直しについて、見直しを行う時期、検討会議の参加職員、保護者の意向把握と同意を得るための手順等、組織的な仕組みを定めて実施している。
判断した理由・特記事項等			<input checked="" type="checkbox"/>	イ	見直しによって変更した指導計画の内容を、関係職員に周知する手順を定めて実施している。
日々の実践のふりかえりは、乳児は「生活記録」に、幼児は「日誌」に記載し、評価反省を行っている。そうした分析のもと、週案や月案の作成につないでいる。主任・園長は、月末に点検・見直しを行い、課題をフィード・バックしている。			<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	指導計画を緊急に変更する場合の仕組みを整備している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	指導計画の評価・見直しにあたっては、標準的な実施方法に反映すべき事項、子ども・保護者のニーズ等に対する保育・支援が十分ではない状況等、保育の質の向上に関わる課題等が明確にされている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ	評価した結果を次の指導計画の作成に生かしている。(保育所)
Ⅲ-2-(3) 福祉サービス実施の記録が適切に行われている。		自己評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は口にてチェック)	
44	① 子どもに関する保育の実施状況の記録が適切に行われ、職員間で共有化されている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	子どもの発達状況や生活状況等を、保育所が定めた統一した様式によって把握し記録している。
判断した理由・特記事項等			<input checked="" type="checkbox"/>	イ	個別の指導計画等にもとづく保育が実施されていることを記録により確認することができる。
児童票・個別指導計画・個別支援計画等、保育に係る書類関係は、園長・主任が、毎月、内容を点検・確認し的確な指導助言を実施している。毎日の屋礼、職員会議等では、各クラスの子どもの細かな情報を共有し、今後の指導に生かしている。各クラス専用のパソコンが設定され、保護者からの連絡も即座に閲覧できるようになり、業務改善につながっている。			<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	記録する職員で記録内容や書き方に差異が生じないように、記録要領の作成や職員への指導等の工夫をしている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	保育所における情報の流れが明確にされ、情報の分別や必要な情報が確に届くような仕組みが整備されている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ	情報共有を目的とした会議の定期的な開催等の取組がなされている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ	コンピュータネットワークや記録ファイル等を通じて、事業所内で情報を共有する仕組みが整備されている。
45	② 子どもに関する記録の管理体制が確立している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	個人情報保護規程等により、子どもの記録の保管、保存、廃棄、情報の提供に関する規定を定めている。
判断した理由・特記事項等			<input checked="" type="checkbox"/>	イ	個人情報の不適正な利用や漏えいに対する対策と対応方法が規定されている。
業務マニュアルの中に個人情報保護規定を位置づけ、園長が管理責任者となり運営に当たっている。個人情報を記載している書類はすべて、施錠できるロッカーに保管している。USBメモリーは、パスワードを設定し保管している。			<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	記録管理の責任者が設置されている。
年度初めには、全ての保護者に写真の取り扱いなどについて説明し、個人情報保護規定に同意を得ている。職員へは、職員会議や研修の場を活用し、情報管理規定の運用と実務について研修を深め、管理体制の強化や法令遵守の徹底に努めている。			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	記録の管理について個人情報保護の観点から、職員に対し教育や研修が行われている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ	職員は、個人情報保護規程等を理解し、遵守している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ	個人情報の取扱いについて、保護者等に説明している。

レイモンド大藪保育園 第三者評価結果報告書
【内容評価基準】

A-1 保育内容

A-1-(1) 全体的な計画の作成		自己評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は□にチェック)
1	① 保育所の理念、保育の方針や目標に基づき、子どもの心身の発達や家庭及び地域の実態に応じて全体的な計画を作成している。	b	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 全体的な計画は、児童憲章、児童の権利に関する条約、児童福祉法、保育所保育指針などの趣旨をとらえて作成している。
判断した理由・特記事項等			<input checked="" type="checkbox"/>	イ 全体的な計画は、保育所の理念、保育の方針や目標に基づいて作成している。
全体的な計画は、児童の権利を中心にした法令関係、保育指針などの趣旨を間違いなく包含しているが、園長作成となっているのを、昼会などを活用して個別部門でのリーダーも参加してまとめた形をとってほしい。			<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 全体的な計画は、子どもの発達過程、子どもと家庭の状況や保育時間、地域の実態などを考慮して作成している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 全体的な計画は、保育に関わる職員が参画して作成している。
			<input type="checkbox"/>	オ 全体的な計画は、定期的に評価を行い、次の作成に生かしている。
A-1-(2) 環境を通して行う保育、養護と教育の一体的な取り組み		自己評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は□にチェック)
2	① 生活にふさわしい場として、子どもが心地よく過ごすことのできる環境を整備している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 室内の温度、湿度、換気、採光、音などの環境は、常に適切な状態に保持している。
判断した理由・特記事項等			<input checked="" type="checkbox"/>	イ 保育所内外の設備・用具や寝具の衛生管理に努めている。
子ども達が使用する玩具や家具は、使用前にはチェック、消毒して安全なものを使用している。乳児クラスは、床暖房が設置されていて、快適な環境が整っている。部屋には、温度計、湿度計が設置されていて保育者は、常に確認し調整している。部屋の換気も定期的に行っている。手洗い場の奥にトイレがあり、常に清潔さを保つよう努めており子ども達もごみ入れにきっちりと入れるなど、明るい生活の場を作っている。□			<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 家具や遊具の素材・配置等の工夫をしている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 一人ひとりの子どもが、くつろいだり、落ち着ける場所がある。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 食事や睡眠のための心地よい生活空間が確保されている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ 手洗い場・トイレは、明るく清潔で、子どもが利用しやすい設備を整え、安全への工夫がされている。
3	② 一人ひとりの子どもを受容し、子どもの状態に応じた保育を行っている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 子どもの発達と発達過程、家庭環境等から生じる一人ひとりの子どもの個人差を十分に把握し、尊重している。
判断した理由・特記事項等			<input checked="" type="checkbox"/>	イ 子どもが安心して自分の気持ちを表現できるように配慮し、対応している。
個々の指導計画は、きちんと作成してあり職員間で共有している。子ども間でトラブルがあった場合には、ひと呼吸おいてから両方の意見を聞きそれぞれに優しく対応している。体調の悪い時は、担任が即刻看護師に連絡し対応している。マニュアルに従い全保育者は肯定的な言葉を中心に否定的な言葉は使用しないよう努めている。			<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 自分を表現する力が十分でない子どもの気持ちをくみとろうとしている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 子どもの欲求を受けとめ、子どもの気持ちにそって適切に対応している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 子どもに分かりやすい言葉づかいで、おだやかに話している。
	<input checked="" type="checkbox"/>	カ せかず言葉や制止させる言葉を不必要に用いないようにしている。		
4	③ 子どもが基本的な生活習慣を身につけることができる環境の整備、援助を行っている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 一人ひとりの子どもの発達に合わせて、生活に必要な基本的な生活習慣を身につけられるよう配慮している。
判断した理由・特記事項等			<input checked="" type="checkbox"/>	イ 基本的な生活習慣の習得にあたっては、子どもが自分でやろうとする気持ちを尊重して援助を行っている。
毎日の積み重ねを大切に、出来ることが一つでも増えるように一人ひとりに寄り添いながら丁寧な保育を全職員で取り組んでいる。1歳児の教室では、靴下を自分で履こうとしている子どもを見守りながら、そっと手を貸している光景が見られた。施設全体が木の温もりに包まれ、教室・廊下・トイレ等いつも綺麗に清掃し、居心地の良い環境が整っている。			<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 基本的な生活習慣の習得にあたっては、強制することなく、一人ひとりの子どもの主体性を尊重している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 一人ひとりの子どもの状態に応じて、活動と休息のバランスが保たれるように工夫している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 基本的な生活習慣を身につけることの大切さについて、子どもが理解できるように働きかけている。

レイモンド大藪保育園 第三者評価結果報告書

【内容評価基準】

5	④ 子どもが主体的に活動できる環境を整備し、子どもの生活と遊びを豊かにする保育を展開している。	b	<input checked="" type="checkbox"/> ア	子どもが自主的・自発的に生活と遊びができる環境を整備している。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/> イ	子どもが自発性を発揮できるよう援助している。
	天気の良い日には、園庭で全園児が自由に遊べる時間を確保し、子ども達が自分で選んで遊べるように保育者は見守っている。乳児組は、砂場を中心に遊びを展開し、滑り台などでも活発に活動している。幼児組では自然と異年齢交流となり数人で、鬼ごっこ・サッカー・虫取りなど自分でやりたい遊びを楽しんでいる。姉妹と一緒に手を取り合って散歩している微笑ましい光景も見られた。保育者が一緒になって遊ぶ場面では、しっかりとわかりやすくルールを教えながら、みんなが参加できるように配慮し『だるまさんが転んだ』を楽しんでいた。秋に実施される幼児組合同の遠足では、お弁当を持参し、異年齢交流のグループにわかれての活動の場を設定している。3・4・5歳児は週に1回外部講師の体操教室が組み込まれ、講師の先生を、準備体操やマット運動・跳び箱・鉄棒等年齢に応じた動きを一人ひとりにわかりやすく指導し、子ども達も集中して真剣に取り組んでいた。『できた』という達成感で満足そうな表情の子ども達も多く見られた。今までは、コロナ禍で地域の人たちと接する機会や社会体験が設定できなかったが、これからは徐々に活動を再開する方向になるよう努めて欲しい。	<input checked="" type="checkbox"/> ウ	遊びの中で、進んで身体を動かすことができるよう援助している。	
			<input checked="" type="checkbox"/> エ	戸外で遊ぶ時間や環境を確保している。
			<input checked="" type="checkbox"/> オ	生活と遊びを通して、友だちなどと人間関係が育まれるよう援助している。
			<input checked="" type="checkbox"/> カ	子どもたちが友だちと協同して活動できるよう援助している。
			<input checked="" type="checkbox"/> キ	社会的ルールや態度を身につけていくよう配慮している。
			<input checked="" type="checkbox"/> ク	身近な自然とふれあうことができるよう工夫している。
			<input checked="" type="checkbox"/> ケ	地域の人たちに接する機会、社会体験が得られる機会を設けている。
			<input checked="" type="checkbox"/> コ	様々な表現活動が自由に体験できるよう工夫している。
6	⑤ 乳児保育(0歳児)において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a	<input checked="" type="checkbox"/> ア	0歳児が、長時間過ごすことに適した生活と遊び及び環境への工夫がされている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/> イ	0歳児が、安心して、保育士等と愛着関係(情緒の安定)が持てるよう配慮している。
	8人の0歳児が在籍している。育児担当制を取り入れてはいるが、どの職員でも対応できるように、個々の個人記録をみて動けるよう情報の共有をしている。SIDSチェックは、5分おきに確認し記録している。連絡帳があり、前日の子どもの変わったことがあった場合にはきめ細かく報告され、保育者の方からは今日新しい活動が出来たことなど双方が細かな連絡をし合っている。環境としては、床暖房、エアコン、壁に室温・湿度計が設置されていてチェックし、適宜換気も行い環境が整備できている。		<input checked="" type="checkbox"/> ウ	子どもの表情を大切にし、応答的な関わりをしている。
			<input checked="" type="checkbox"/> エ	0歳児が、興味と関心を持つことができる生活と遊びへの配慮がされている。
			<input checked="" type="checkbox"/> オ	0歳児の発達過程に応じて、必要な保育を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/> カ	0歳児の生活と遊びに配慮し、家庭との連携を密にしている。
7	⑥ 3歳未満児(1・2歳児)の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a	<input checked="" type="checkbox"/> ア	一人ひとりの子どもの状況に応じ、子どもが自分でしようとする気持ちを尊重している。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/> イ	探索活動が十分に行えるような環境を整備している。
	1歳児は、月齢に合わせて自分の好みを基にブロックや玩具を選んでいる。保育者の注意等しっかりと聞き、行動できている。園庭に出かける時も注意を守り、靴を履き替えて順番にゆっくりと出かける。園庭では、年長児と一緒に虫取りや走ったりして思いっきり運動できている。うんていも先生の少しの助けで最後まで伝って行ける。保育士が、付き添い・寄り添い個々の気持ちを受け止めてゆっくりと対応している。コーナー保育を行い、子どもが安心して寛げる場所づくりや興味、関心に合わせて活動できる環境を整えている。		<input checked="" type="checkbox"/> ウ	子どもが安心して遊びを中心とした自発的な活動ができるよう、保育士等が関わっている。
			<input checked="" type="checkbox"/> エ	子どもの自我の育ちを受け止め、保育士等が適切な関わりをしている。
			<input checked="" type="checkbox"/> オ	保育士等が、友だちとの関わりの中立ちをしている。
			<input checked="" type="checkbox"/> カ	様々な年齢の子どもや、保育士以外の大人との関わりを図っている。
			<input checked="" type="checkbox"/> キ	一人ひとりの子どもの状況に応じ、家庭と連携した取組や配慮がされている。
8	⑦ 3歳以上児の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a	<input checked="" type="checkbox"/> ア	3歳児の保育に関して、集団の中で安定しながら、遊びを中心とした興味関心のある活動に取り組めるような環境を整え、保育士等が適切に関わっている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/> イ	4歳児の保育に関して、集団の中で自分の力を発揮しながら、友だちとともに楽しみながら遊びや活動に取り組めるような環境を整え、保育士等が適切に関わっている。
	子どもの気づきや発信を大切に、コーナー保育で子どものやりたいことを自分で選べるようにしている。幼児組になると、英語・お茶・体操を取り入れ、幅広い体験活動の場を設定している。保幼小連絡協議会には、積極的に参加し情報交換や参観授業等研修を重ねている。		<input checked="" type="checkbox"/> ウ	5歳児の保育に関して、集団の中で一人ひとりの子どもの個性が活かされ、友だちと協力して一つのことをやり遂げるといった遊びや活動に取り組めるような環境を整え、保育士等が適切に関わっている。
			<input checked="" type="checkbox"/> エ	子どもの育ちや取り組んできた協同的な活動等について、保護者や地域・就学先の小学校等に伝える工夫や配慮がされている。
9	⑧ 障害のある子どもが安心して生活できる環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	b	<input checked="" type="checkbox"/> ア	建物・設備など、障害に応じた環境整備に配慮している。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/> イ	障害のある子どもの状況に配慮した個別の指導計画を作成し、クラス等の指導計画と関連づけている。
	障がいのある子どもの状況や保護者の思いに配慮した個別の支援計画を作成するとともに、保護者との面談を重ね、成長過程の記録を、園と保護者が共有している。また、保育の充実を図るため、障がいに応じた加配担当保育士を配置し、こうした措置のもと、日々の遊びや生活環境を整備して、共に育ち合う場の設定を施している。		<input checked="" type="checkbox"/> ウ	計画に基づき、子どもの状況と成長に応じた保育を行っている。
	市の巡回教育相談、療育センター、市の言語聴覚士等関係機関からの指導や助言を受け、園児や保護者一人ひとりに寄り添った支援の充実を努めている。		<input checked="" type="checkbox"/> エ	子ども同士の関わりに配慮し、共に成長できるようにしている。
	本園には、非常時用として「非常救助袋」に代わる「大型滑り台」を設置している。しかし、障がいのある子どもについては課題が残っている。今後は、その活用方法についてより丁寧な対応が望まれる。		<input checked="" type="checkbox"/> オ	保護者との連携を密にして、保育所での生活に配慮している。
			<input checked="" type="checkbox"/> カ	必要に応じて、医療機関や専門機関から相談や助言を受けている。
			<input checked="" type="checkbox"/> キ	職員は、障害のある子どもの保育について研修等により必要は知識や情報を得ている。
			<input type="checkbox"/> ク	保育所の保護者に、障害のある子どもの保育に関する適切な情報を伝えるための取組を行っている。

レイモンド大藪保育園 第三者評価結果報告書

【内容評価基準】

10	⑨ それぞれの子どもの在園時間を考慮した環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	1日の生活を見通して、その連続性に配慮し、子ども主体の計画性をもった取組となっている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	家庭的でゆったりと過ごせる環境を整えている。
	業務マニュアルの中に長時間保育に係る必要事項や配慮事項をしっかりと明記し、スムーズな運営が出来るよう努めている。特に、職員間の引き継ぎについては、職員の勤務条件との関わりから、細心の注意が払われている。①早番職員は、「延長保育名簿」に、引き継ぎ事項を記入する。②遅番職員は、引き継いだ内容を保護者に伝えた事実を記載し捺印する。③遅番職員に引き継がない重要要件があるときは、自ら残って対応したり電話等を活用したりする。 子どもたちの寂しさを受け止め、心に寄り添う配慮を心がけ、穏やかに過ごせる環境を整えるよう努めている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	子どもの状況に応じて、おだやかに過ごせるよう配慮している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	年齢の異なる子どもと一緒に過ごすことに配慮している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ	子どもの在園時間や生活リズムに配慮した食事・おやつ等の提供を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ	子どもの状況について、保育士間の引継ぎを適切に行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	キ	担当の保育士と保護者との連携が十分にとれるように配慮している。
11	⑩ 小学校との連携、就学を見通した計画に基づく、保育の内容や方法、保護者との関わりに配慮している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	計画の中に小学校との連携や就学に関連する事項が記載され、それに基づいた保育が行われている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	子どもが、小学校以降の生活について見直しを持てる機会が設けられている。
	今年度は、コロナ以前の取組を再開することが出来ている。「4・4交流」「5・5交流」「田植えや稲刈り」「ジャガイモ植えと収穫」等、異年齢交流の中で「生きる力」を身につけている。また、保育士と小学校教員との研修・交流会（保幼小連絡会）も再開し、0歳から12歳までの成長を見とおした保育を考へることが出来るようになっている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	保護者が、小学校以降の子どもの生活について見直しを持てる機会が設けられている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	保育士等と小学校教員との意見交換、合同研修を行うなど、就学に向けた小学校との連携を図っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ	施設長の責任のもとに関係する職員が参画し、保育所児童保育要録を作成している。
A-1-(3) 健康管理		自己評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は口にチェック)	
12	⑪ 子どもの健康管理を適切に行っている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	子どもの健康管理に関するマニュアルがあり、それに基づき一人ひとりの子どもの心身の健康状態を把握している。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	子どもの体調悪化(けがなど)については、保護者に伝えるとともに、事後の確認をしている。
	年間保健計画をもとに健康診断を行い、毎月の身体測定もきちんと実施している。登園時には、玄関に設置している体温計で測定し記入している。毎日登園時には保護者からは、健康状態を確認している。異常がある場合には、主任や看護師に報告し指示を受けている。けがや事故が発生し、医師の受診を受ける場合には、看護師・担任・主任のいづれかが付き添い保護者にも素早く連絡をとる体制を取っている。通常医師の指示でも2回の投薬にするよう園側は依頼しているが、特別の事情が生じた場合には、対応している。調査日で実際に見たケースでは、間違いがないように、職員室で看護師と他1名の職員が付き添い確実な内服が出来ていた。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	子どもの保健に関する計画を作成している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	一人ひとりの子どもの健康状態に関する情報を、関係職員に周知・共有している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ	既往症や予防接種の状況など、保護者から子どもの健康に関わる必要な情報が常に得られるように努めている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ	保護者に対し、保育所の子どもの健康に関する方針や取組を伝えている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	キ	職員に乳幼児突然死症候群(SIDS)に関する知識を周知し、必要な取組を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	ク	保護者に対し、乳幼児突然死症候群(SIDS)に関する必要な情報提供をしている。
13	⑫ 健康診断・歯科健診の結果を保育に反映している。	b	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	健康診断・歯科健診の結果が記録され、関係職員に周知されている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	健康診断・歯科健診の結果を保健に関する計画等に反映させ、保育が行われている。
	検診結果は、キッズプラスで保護者に報告している。年に1回は、歯科医師から歯磨き指導を受けている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	家庭での生活に生かされ、保育に有効に反映されるよう、健康診断・歯科健診の結果を保護者に伝えている。
14	⑬ アレルギー疾患、慢性疾患等のある子どもについて、医師からの指示を受け適切な対応を行っている。	b	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	アレルギー疾患のある子どもに対して、「保育所におけるアレルギー対応ガイドライン」をもとに、子どもの状況に応じた適切な対応を行っている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	慢性疾患等のある子どもに対して、医師の指示のもと、子どもの状況に応じた適切な対応を行っている。
	アレルギー疾患のある子どもは、受診して定期的に医師の指示を受けている。食事については、間違いがないように献立表を基に調理員との連携をきちんととっている。給食時には、アレルギー対応のガイドラインをもとに、適切な対応をし、トレーの色を変えたり、となりの子どもとの配置については特に気を付けて距離も充分取っている。子ども同士はアレルギーについて理解されている様子がうかがえたが、差別とならないように子ども達や保護者に対して、良く説明をするよう期待したい。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	保護者との連携を密にして、保育所での生活に配慮している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	食事の提供等において、他の子どもたちとの相違に配慮している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ	職員は、アレルギー疾患、慢性疾患等について研修等により必要な知識・情報を得たり、技術を習得している。
			<input type="checkbox"/>	カ	他の子どもや保護者にアレルギー疾患、慢性疾患等についての理解を図るための取組を行っている。
A-1-(4) 食事		自己評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は口にチェック)	
15	⑭ 食事を楽しむことができるよう工夫をしている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	食に関する豊かな経験ができるよう、保育の計画に位置づけ取組を行っている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	子どもが楽しく、落ち着いて食事をとれる環境・雰囲気づくりの工夫をしている。
	全体計画の中に食育計画を位置づけ、職員全体で取り組んでいる。和食中心の手作り献立とし、主食のご飯は、金芽米(胚芽の一部が残っている米)を使用し栄養価も高くなっている。月に数回は、玄米食も取り入れている。副食は家庭では取りづらい「ひじきや切り干し大根等」を様々な食材と一緒に食べやすい味付けにしている。お代わりをしている子どもも多く見られた。スープ類は昆布やカツオの出汁を基調にし薄味でも美味しく仕上がる工夫をしている。1歳児の教室では、スプーンを使いながら仕切り皿のおかずやご飯を、保育者の見守りや手助けを受けながら、美味しく丁寧に綺麗に食べていた。保護者がお迎えに来た時に、今日食べた給食がわかるように、玄関に写真を提示し喜ばれている。保護者にメニューのレシピを教えて欲しいと要望されるケースも多く食への関心の高さが伺える。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	子どもの発達に合わせた食事の援助を適切に行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	食器の材質や形などに配慮している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ	個人差や食欲に応じて、量を加減できるように工夫している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ	食べたいもの、食べられるものが少しでも多くなるよう援助している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	キ	子どもが、食について関心を深めるための取組を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	ク	子どもの食生活や食育に関する取組について、家庭と連携している。

レイモンド大藪保育園 第三者評価結果報告書

【内容評価基準】

16	② 子どもがおいしく安心して食べることのできる食事を提供している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	一人ひとりの子どもの発育状況や体調等を考慮した、献立・調理の工夫をしている。
判断した理由・特記事項等			<input checked="" type="checkbox"/>	イ	子どもの食べる量や好き嫌いなどを把握している。
日々の給食は、衛生管理体制をしっかりと厳守しチームリーダーを中心に3名のスタッフで手際よく調理をしている。おやつも含め、手作りを基本としている。毎月郷土料理を取り入れ、子ども達も食べたことのない料理に興味を示し、楽しみにしている。献立表は、毎月紙ベースで保護者に配布し家庭でも確認できている。食事よりも毎月配信し、季節の食材や食事のマナー等、食への関心を高めるようにしている。年度当初の会議では、子ども達の栄養価の規定量を実際に盛り付けた給食で示し、保育者が配分するときの目安となるようにしている。年に1回、全職員が教室で子ども達と一緒に食べる日を設定しており調理員も参加している。			<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	残食の調査記録や検査簿をまとめ、献立・調理の工夫に反映している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	季節感のある献立となるよう配慮している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ	地域の食文化や行事食などを取り入れている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ	調理員・栄養士等が、食事の様子を見たり、子どもたちの話を聞いたりする機会を設けている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	キ	衛生管理体制を確立し、マニュアルにもとづき衛生管理が適切に行われている。

A-2 子育て支援

A-2-(1) 家庭との緊密な連携			<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点 (該当する場合は口にチェック)	
17	① 子どもの生活を充実させるために、家庭との連携を行っている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	連絡帳等により家庭との日常的な情報交換を行っている。
判断した理由・特記事項等			<input checked="" type="checkbox"/>	イ	保育の意図や保育内容について、保護者の理解を得る機会を設けている。
0歳児は、紙ベースの連絡帳で連携をとり、1.2歳児は、アプリの連絡帳を使用している。送迎時大切な情報交換の場となっている。毎日、昼食後、各リーダーが集まり(昼会)、園長・主任・看護師との伝達・確認・相互連絡の場としている。			<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	様々な機会を活用して、保護者と子どもの成長を共有できるよう支援をしている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	家庭の状況、保護者との情報交換の内容を必要に応じて記録している。
			A-2-(2) 保護者等の支援		
18	① 保護者が安心して子育てができるよう支援を行っている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	日々のコミュニケーションにより、保護者との信頼関係を築くよう取組を行っている。
判断した理由・特記事項等			<input checked="" type="checkbox"/>	イ	保護者等からの相談に応じる体制がある。
日頃の保護者とのコミュニケーションを大切にしている。朝のお迎え時は、保育者は分け隔てなくどの子どもにも声かけをしている。毎日の子どもの活動がわかるように写真を撮り、お迎え時までに玄関のパネルに掲示し保護者にとっても楽しみな場になっている。相談内容は、園長・主任に相談し園としての対応をとり、個別面談も行える体制を整えている。職員は、家庭支援の研修会にも積極的に参加し、ソーシャルワーカーの指導やアドバイス等を受けている。			<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	保護者の就労等の個々の事情に配慮して、相談に応じられるよう取組を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	保育所の特性を生かした保護者への支援を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ	相談内容を適切に記録している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ	相談を受けた保育士等が適切に対応できるよう、助言が受けられる体制を整えている。
			19	② 家庭での虐待等権利侵害の疑いのある子どもの早期発見・早期対応及び虐待の予防に努めている。	b
判断した理由・特記事項等			<input checked="" type="checkbox"/>	イ	虐待等権利侵害の可能性があると職員が感じた場合は、速やかに保育所内で情報を共有し、対応を協議する体制がある。
気にかかる子どもについては、送迎時保護者の様子や子どもの表情など変化がないかきちんと観察し、日々の様子を見ながら職員間で情報の共有に努めている。お休みが続いた子、体調を崩している子、少しでも変わった様子がある子どもには特に気を配り見守りを行っている。看護師が毎朝各教室を見回り、健康チェック表の確認や子どもの表情等きめ細かによりみとり担任と連携をとっている。職員会議等で、園長や主任が職員に早期発見や対応等指導はしているが、マニュアルに基づく職員研修の機会を今後定期的実施したり、何かがあうかがえた場合は躊躇せず前進することも考えてほしい。			<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	虐待等権利侵害となる恐れがある場合には、予防的に保護者の精神面、生活面の援助をしている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	職員に対して、虐待等権利侵害が疑われる子どもの状態や行動などをはじめ、虐待等権利侵害に関する理解を促すための取組を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ	児童相談所等の関係機関との連携を図るための取組を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ	虐待等権利侵害を発見した場合の対応等についてマニュアルを整備している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	キ	マニュアルにもとづき職員研修を実施している。

A-3 保育の質の向上

A-3-(1) 保育実践の振り返り(保育士等の自己評価)			<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点 (該当する場合は口にチェック)	
20	① 保育士等が主体的に保育実践の振り返り(自己評価)を行い、保育実践の改善や専門性の向上に努めている。	b	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	保育士等が、記録や職員間の話し合い等を通じて、主体的に自らの保育実践の振り返り(自己評価)を行っている。
判断した理由・特記事項等			<input checked="" type="checkbox"/>	イ	自己評価にあたっては、子どもの活動やその結果だけでなく、子どもの心の育ち、意欲や取り組む過程に配慮している。
週間指導計画、月間指導計画、年間計画指導計画を基に、自らの実践を振り返り、保育の質の向上に努めている。また、職員全員で話し合うことをとおして、互いの良さや改善点に気づき、指導力の向上に繋げている。今後も保育者としての専門性を磨きあげてほしい。			<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	保育士等の自己評価を、定期的に行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	保育士等の自己評価が、互いの学び合いや意識の向上につながっている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ	保育士等の自己評価にもとづき、保育の改善や専門性の向上に取り組んでいる。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ	保育士等の自己評価を、保育所全体の保育実践の自己評価につなげている。